

あい & あい

- AI & AI -

FUKUOKA NURSING FEDERATION
福岡県看護連盟だより
 令和5年9月15日発行
<http://www.fukukanren.jp>



日本看護連盟
シンボルマーク

Vol. **92**

会員数
(令和5年8月末現在)

7,379名

令和5年度 福岡県看護連盟通常総会



麻生太郎 自民党副総裁

服部誠太郎 福岡県知事

磯内勇夫 日本看護協会会長九州の自立を考える会会長

香原勝司 福岡県議会議長

原口剣生 自民党福岡県連会長

松尾統章 自民党福岡県議団会長

看護職を常に応援くださっている来賓の方々にご祝辞をいただきました

※写真左から祝辞順



会場入口前の保安検査



受付



会長挨拶



日本看護連盟名誉会員への花束贈呈



書記・司会



日本看護連盟通常総会報告



連盟会長表彰



名誉会員



議長選出
筑豊1支部長・筑豊飯塚病院支部長



会計監査報告



綱領宣言



連盟歌斉唱



退任される
監事と幹事長

Contents

- 02. 会長挨拶
- 03. 県予算・政策に関する要望
- 04. 日本看護連盟通常総会報告／福岡県看護連盟通常総会報告
- 05. 新旧役員紹介
- 08. 福岡県看護連盟組織図
- 09. 看護職地方議員誕生
- 10. 看護職員活動報告
- 12. コロナ5類後の医療介護・在宅等の現状
- 13. 被災の中での感動
- 14. 青年部の窓
- 15. 福岡県看護連盟リーダー研修会報告／福岡県助産師会佐藤香代会長医療功労賞受章
- 16. 私たちの支部／編集後記



ご挨拶



福岡県看護連盟会長
塚崎 恵子

仲秋の候とは言え、まだまだ続く残暑の中、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様の連盟活動へのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、7月の北部九州を襲った集中豪雨は、県南地区に未だ深い爪痕を残していますが、多くの頼もしいボランティアの皆様のお力添えにより、被災地区の再生復興が速やかに進んでおります。全国からの温かいご支援に、ここから感謝申し上げます。

この夏は、志半ばで凶弾に倒れた安倍晋三元総理の一周忌でした。福岡県看護連盟は、安倍元総理の在りし日を偲び、日本国が世界の真ん中で輝く美しい国であることに誇りをもって、粛々と政治活動を進めております。

当県看護連盟通常総会には、麻生太郎自由民主党副総裁はじめ服部誠太郎福岡県知事、日本獣医師会会長であり九州の自立を考える会蔵内勇夫会長、福岡県議会香原勝司議長、自由民主党福岡県支部連合会原口剣生会長、自由民主党福岡県議団松尾統章会長他、各級議員の皆様、各関係団体の皆様にご臨席を賜りました。力強い過分なお言葉を頂戴して、益々活動意欲を高めているところでございます。

また、県・支部共に役員的大幅な交代がありましたが、コロナ禍で明確になった医療インフラ整備、地域包括ケアや診療報酬の問題、人生100年時代へ向かう人的資源活用等々の諸課題の中で、看護の将来構想にもしっかり取り組みながら、一人一人の力を結集して連盟活動の在り方を活発に議論しているところです。まさに「政治は可能性の芸術」です。

しかしながら、残念なことに看護連盟への入会員数は年々減少しており、もっとも政治を身近に感じる環境づくりに注力する必要性を痛感しております。それ故にこの秋(9月・10月)は、地元選出の国会議員や県議会議員をお迎えして、今後の社会保障のあり方の中で、看護サービスの充実や構造的賃上げの実現、看護・介護の人材確保等について2回の研修会を開催いたします。会員・非会員を問いませんので、是非とも福岡県看護連盟HPにアクセス又は連盟事務所へお気軽にお問い合わせください。

「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」のスローガンの下、看護職の4人の国会議員には引き続きご活躍いただくことを期待すると共に、看護職がその実力を如何なく発揮するための魅力ある連盟活動について、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくだされば幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

会員募集中!

入会のご案内

会員のあなたが会員を増やしましょう!
それが「看護連盟の力!!」あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護職代表を国政の場に送り、
看護と国民の健康・福祉の問題解決を推進しています。



連盟本部 5,000円

+

福岡県連盟 2,500円

=

年会費 7,500円

賛助会員・
OB会員募集

年会費 1,000円

随時
受付中!!

福岡県看護連盟

TEL:(092)631-1162 FAX:(092)631-1164
kangorenmei-fukuoka@ace.ocn.ne.jp

●ホームページも是非ご覧下さい!

<http://www.fukukanren.jp/>

福岡県看護連盟

学生会員募集

会費
無料

保健師、助産師、看護師または准看護師の資格を得るために就学している学生で、看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、日本看護連盟の広報誌やメールマガジンをお届けいたします。

福岡県予算・政策に関する要望書を提出

8月25日(金)、福岡県看護協会は服部誠太郎県知事に、令和6年度の県の予算・政策に関する要望書を提出しました。今回の要望書は下記に示す通りです。看護をめぐる様々な課題がある中で、看護職員の確保・定着や人材育成に関する内容を継続して要望しております。

当県看護連盟としては引き続き、**保健師教育大学院設置推進**と**助産師活用事業推進**のための助成金確保等についての具体的な要望を自民党県議団に申し入れています。保健師教育大学院設置推進における意向調査は、県内看護系大学学部生を対象に開始されます。

看護職員の確保・定着と人材育成

1 看護職員の確保・定着

- ① 看護職員確保に係る実態調査(採用者数・退職者数・離職率等の施設調査)の計画的な実施及び需給状況の評価
- ② 看護師等養成所(大学及び専門学校)卒業後の就職状況(県内就職状況を含む)に関する実態調査の実施及び具体的な看護職員確保策に関する検討
- ③ 離職防止対策・特に新卒看護師への支援体制の強化
- ④ より効果的に潜在看護職員の復職支援を行うための実施体制の強化
- ⑤ セカンドキャリア・プラチナナースの活用に関する支援策の検討
- ⑥ 在宅・介護分野における看護職員不足の実態の把握及び対策の実施
- ⑦ 看護補助者確保事業の強化

2 看護職員の人材育成

- ① 「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の改正を受けた保健師への健康危機管理教育推進
- ② 助産師の実践力強化としての助産師活用事業の推進
- ③ 市町村設置の「こども家庭センター」が実施する妊産婦支援における助産師の活用
- ④ 看護管理者の育成事業(看護管理者交流会の開催など)への財政支援
- ⑤ 特定行為研修受講に係わる支援及び特定行為終了者活用促進事業の展開
- ⑥ 准看護師の進学支援の強化

看護連盟と看護協会は、役割を分担しながら協働して活動し、問題解決を図っています。

当県の場合は、福岡県看護政策懇話会において、看護政策の提案事項を協議し、県知事宛に予算・政策に関する要望書を作成し、提出しています。

福岡県看護連盟は要望事項を県議らに付託し福岡県の政策に確実に反映されるように常に働きかけています。

看護連盟

政治活動

看護協会

政策提言活動

要望書提出のプロセス

1 1月～3月頃

- ・前年提出した要望事項の結果確認
- ・日本看護協会の看護政策・事業案の把握(1月頃)

2 4月～5月頃

- ・福岡県看護政策懇話会で要望事項の立案内容と情報共有 ※1
- ・福岡県看護連盟要望事項の確認
- ・次年度の予算・政策に関する要望を提出(県知事宛) ※2

3 5月～9月頃

- ・自民党福岡県議団及び自民党福岡県支部連合会へ説明
- ・政策審議会へ疑義解釈、相談、質疑応答

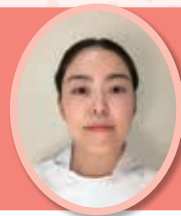
4 9月～12月頃

- ・予算・要望書を自民党福岡県支部連合会長と自民党福岡県議団会長に付託
- ・職域支部として自民党福岡県支部連合会政務調査会長宛提出
- ・政務調査会長より文書による要望書の回答を受領

※1. 福岡県看護政策懇話会(県看護協会と県看護連盟で結成) ※2. 県知事宛提出時には連盟会長同行

令和5(2023)年度 日本看護連盟通常総会報告

福岡県看護連盟青年部
前委員長
酒井 裕子



6月13日、2023年度日本看護連盟通常総会が開催され、福岡県からは代議員21名が参加しました。高原静子会長の開会挨拶後、日本看護協会の高橋弘枝会長、続いて、国会会期中の大変お忙しい中、岸田文雄総裁をはじめ、文部科学大臣、参議院自由民主党幹事長、厚生労働大臣、そして、看護職国会議員の方々が祝辞を述べられました。その後、議長団が選出されて報告事項に移り、2023年度の名誉会員の一人に、福岡県看護連盟の前副会長を務められた丸山眞紀子さんが選ばれ、2022年の会議・委員会報告、活動報告、事業報告等が行われました。2023年度のスローガンは「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」に決定し、事業計画が発表されました。最後に第27回参議院議員選挙の組織内候補予定者の決議が行われ、満場一致で石田昌宏議員に決定しました。石田昌宏議員から力強いご挨拶があり、会場から盛大な拍手が送られました。



丸山眞紀子福岡県看護連盟前副会長
名誉会員就任



令和5(2023)年度 福岡県看護連盟通常総会報告

福岡県看護連盟青年部
北九州6支部
柴田 直人



前日までの雨模様から打って変わり、晴れ模様もみられるなか、7月2日福岡リーセントホテルに於いて「令和5年度 福岡県看護連盟通常総会」が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、代議員(348名)のみの参加ではありましたが、来賓の方等含めて総勢445名の参加がありました。当日は麻生太郎副総裁をはじめ、服部知事、国会議員、県会議員と多数の来賓が参加され、滞りなく終了しました。今年度の連盟会長表彰では連盟活動に尽力した会員9名が表彰されました。会の中で特に印象深かったのが、麻生太郎副総裁の「看護の声を届けてくれる力が必要、そういう声を引き続き届けてほしい、政治に関心を持ってほしい」というお言葉でした。「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」と、看護連盟のスローガンでもあるように、改めて看護連盟として、私たち一人一人の発言力、団結力を強化し、今まで以上に活動に邁進していく必要があると感じました。





令和5(2023)年度 新旧役員紹介



退任役員 お疲れ様でした



福岡県看護連盟 幹事長 前田 三枝子

選挙は楽しかった！看護の社会的地位と評価を高めたいという思いから、連盟幹事長という役割を最後の仕事として引き受けました。これまでのご支援に心から感謝します。



福岡県看護連盟 監事 續米 保子

皆様からのご教授とご指導を仰ぎながら2期6年勤務めさせて頂きました。長かった看護実践の場では得ることができなかった多くの貴重な経験を積むことができました。心より感謝申し上げます。看護連盟の今後益々の発展を祈念いたします。



福岡県看護連盟 監事 馬場 三重子

昨年度より、七井監事の代行として無事にその役責を終えることができました。県の事務局担当者をはじめ、各支部支部長様・幹事様・会計担当者様に心より感謝いたします。



福岡1・2 支部長 宮崎 さとみ

支部長の役を務めることで、政治を見つめ、世の中について学んだ貴重な3年間を得たことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



福岡1・2 幹事長 谷村 明美

支部幹事長として大変お世話になりました。コロナ禍で思うような活動は出来ませんでしたが、今まで知らなかった政治活動などを通して色々勉強させていただきました。



福岡3・6 支部長 水城 須美子

支部長として、2期6年の任期を終えることができました。今後も、看護の未来を託せる議員、女性の社会貢献に尽力して下さる議員の方を応援していきたいと思います。



福岡5 支部長 眞名子 佐喜子

支部長として3年間連盟活動に携わり、とても貴重な経験となりました。今後は支部幹事として連盟活動に取り組んでまいります。ありがとうございました。



福岡5 幹事長 浅尾 典彦

高階恵美子議員の衆議院選挙、友納理緒議員の参議院選挙と取り組みあつという間に3年間でしたが、役割が果たせたが疑問に残ります、お世話になりました。



福岡5-2 支部長 宮原 紀代美

支部長として、支部役員の方々に支えられ務めてきましたが、看護職の政治家を送り出す必要性を一人でも多くの看護職に伝える事が重要と感じました。会長や役員の方々にご指導をいただきありがとうございました。



福岡5-2 幹事長 菰田 眞子

2期6年幹事長を務めさせて頂き、ありがとうございました。稲富会長、塚崎会長の元で活動できた事は、貴重な経験と看護師の大きな力を感じました。今後は、一会員として活動していきます。



北九州1・3 支部長 中尾 英子

支部長として、3年間お世話になりました。特に、選挙運動では貴重な経験をさせていただきました。これからも、看護の発展のため看護連盟の活動を応援します。有難うございました。



北九州1・3 幹事長 吉光 ふじ子

3年間お世話になりました。コロナ禍で、いろいろ制限はありましたが、連盟活動に参加し貴重な経験をさせて頂き感謝申し上げます。今後は、一会員として活動を応援していきます。



北九州2 幹事長 桑原 健次

この度、支部役員の任期満了で幹事長を退任することになりました。2011年から12年間、貴重な経験をさせて頂きました。これからは1支部の中で看護連盟の一員として外からの活動を支えていく事が出来たらと思います。



北九州2-2 幹事長 徳永 千恵

3年間にわたり、北九州2-2支部幹事長として皆様には大変お世話になりました。無事に役員の任期を満了することができたことを、心より御礼申し上げます。



北九州4 支部長 石橋 江里子

3年間、会長や役員、各支部長のおかげで支部長の任務を終えることができました。連盟活動に参加し、看護現場の改善には連盟活動がいかに重要かを認識できました。この貴重な経験を多くの看護職に感じてもらいたいと願っています。



北九州4 幹事長 幾島 泰子

役員となり看護現場の声を国政に届け処遇改善をしていく事に微力ながらもお手伝いできた事を嬉しく思います。今後も173.4万人の看護職の為に連盟活動のご活躍を応援しています。



北九州5-1 支部長 金子 いづみ

北九州5-1支部長として2期6年間、連盟活動に関わらせていただきました。コロナ禍の後半は十分な活動ができませんでしたが、塚崎会長を始め多くの方に会えたことに感謝しています。



北九州5-1 幹事長 山下 真希

北九州5-1支部幹事長として3年間連盟活動に携わり、看護の良き展望には政治の力が必要であることを学びました。この経験をこれからの看護に活かしていきます。



北九州5-2 支部長 木村 文男

支部長を2期務めさせて頂きました。役割を十分に果たした自信はありませんが任期中に政治活動に参加させて頂くことで、政治に対する関心・興味を持つことが出来ました。



北九州5-2 幹事長 花田 ゆかり

6年の間、大変お世話になりました。COVID-19の影響で十分な活動を行えませんでした。多くのことを学ばせて頂きました。退任後も一会員として看護政策に関心が持てるよう支援していきます。



北九州6 支部長 深川 直美

2022年7月からの1年間、支部長代理として活動致しました。急な支部長交代にも関わらず、皆が力を合わせてこの1年間を盛り上げて下さいました。ありがとうございました。



北九州6 幹事長 渡辺 千代子

コロナの動向を見ながら役員会を行い、今年是对面式の研修会を行うことが出来、支部役員の方と支部会員の方のお陰だと感謝しております。今後も支部運営へのご協力をお願いいたします。



筑豊2 支部長

高田 美和



看護職の国会議員活動報告を直に聞き、看護職の国会議員の重要性を再認識することができました。今後も働きやすい職場環境の充実のため看護連盟活動に取り組んでいきたいと思ひます。

筑後1-1 支部長

岡田 晃代



支部長として3年間お世話になりました。コロナの影響を受け充分な活動が出来ず残念でした。しかし、友納理総議員を一致団結して応援し当選を喜びあったことは、貴重な経験として私の記憶に刻まれました。今後は、一会員として連盟活動に力を尽くしていきます。

筑後1-2 幹事長

田中 弘子



三年務めさせて頂きました。大変貴重な経験をさせて頂き心より感謝いたします。COVID-19のため会員育成の研修を充分にできなかった事が残念です。今後は私にできる事を支援していきたいと思ひます。

筑後1-4 支部長

松家 貴美子



ほとんどコロナ禍での看護連盟活動でした。その中で連盟の活動を伝え選挙投票へ繋げるように努めて参りました。今後も看護連盟を応援しています。

筑後1-5 支部長

岩橋 とよこ



2017年北部豪雨を経験し、支部長として活動していく中、行政との連携が必須だと確信しました。コロナ禍を理由に思うように活動できなかったことが心残りです。協力していただきました支部の皆様、会長、ありがとうございました。

筑後2 支部長

大淵 幸代



コロナ禍での連盟活動の大変な時期を、会長・皆様と共に過ごせ、頑張れたことは私の宝物です。感謝申し上げます。今後も会員として活動を続けていきたいと思ひています。

筑後2 幹事長

前田 由紀美



幹事長として約2年。支部長や他の役員の方達に支援を受けながら、研修会・選挙活動を通して多くを学ばせて頂きました。ありがとうございました。

筑豊2 幹事長

楠本 志津



筑豊2支部の幹事長を3年間務めさせて頂きました。連盟の活動を深く学ぶことができ、自身の成長にもつながりました。ありがとうございました。

筑後1-1 幹事長

林 ゆかり



現場の声を国政に届けるためには看護連盟の力が必要であることを実感した3年間でした。幹事長の職は離れますが、今後も筑後1-1支部を盛り上げていきたいと思ひます。

筑後1-3 幹事長

中島 成子



地区支部幹事長として6年間お世話になりました。コロナ禍ということもあり十分な活動はできませんでしたが、看護の代表を政界に送り出す喜びを味わうことができました。今後は一会員として協力してまいります。

筑後1-4 幹事長

松尾 幸子



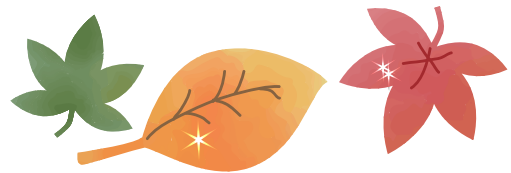
就任してすぐコロナ禍に突入し、思うような活動はできませんでしたが、選挙活動や連盟入会の促しなど支部長や他の会員と共に自分なりに取り組ませていただきました。今後は会員の1人として連盟活動に取り組んで参ります。

筑後1-5 幹事長

安部 純二



私が支部幹事長任期中の2017年7月に起きた九州北部豪雨の災害体験と復興体験を忘れることが出来ません。日本中から災害支援を受ける中、私達看護連盟も行政と手を合わせ物資や人材の支援又、少しでも被災地の方の精神的な助けになればと炊き出しを行いました。病院や施設では経験できない事が出来大変なためになりました。色々お世話になりました、ありがとうございました。



新任役員 よろしくお祈いします



福岡県看護連盟 幹事長

岩橋 とよこ



この度福岡県看護連盟幹事長を拝命いたしました、岩橋とよこと申します。幹事長としてこれまでの経験を活かし会員皆様の声に耳を傾け活動して参りたいと思ひます。よろしくお祈いいたします。

福岡県看護連盟 監事

大池 美也子



このたび監事を拝命いたしました。福岡県看護連盟が担う役割と目的を理解しつつ、その達成に向けて尽力して参りたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお祈いいたします。

福岡1・2 幹事長

藤田 志津



この度、福岡1・2支部幹事長を拝命いたしました。済生会福岡総合病院の藤田志津と申します。支部の皆様と力を合わせて活動して参ります。どうぞよろしくお祈いいたします。

福岡5 支部長

浅尾 典彦



新支部長になりました、浅尾と申します。支部としては連盟会員の減少を食い止め今後、持続可能な連盟活動目指して取り組みます。

福岡5-2 支部長

今村 朋子



この度、福岡5-2支部の支部長を務めさせて頂きます宗像医師会病院の今村です。支部役員の皆様と力を合わせて活動をおこなって参ります。どうぞよろしくお祈いいたします。

福岡県看護連盟 監事

馬場 三重子



本年度より、改めて監事を務めさせていただきます。年に2回の会計監査報告が、有益な支部活動に繋がることを念頭に入れ、支部の皆様とともに注力致します。どうぞ宜しくお願い致します。

福岡1・2 支部長

本山 真由美



初めて支部長を務めさせていただきます。行き届かないこともあるかと思いますが、皆様のご指導・ご協力を得ながら頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈いいたします。

福岡3・6 支部長

松村 真理子



令和5年度より支部長を拝命いたしました。支部役員の方々と密に連携を図りながら、連盟活動に取り組んで参りたいと思ひます。よろしくお祈いいたします。

福岡5 幹事長

眞名子 佐喜子



この度、支部幹事長を務めさせていただくことになりました。皆様と力を合わせて連盟活動を頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いいたします。

福岡5-2 幹事長

荒木 美和子



福岡5-2支部の幹事長を拝命しました。宗像水光会総合病院の荒木美和子です。看護職が生きて仕事が続けられるよう、働きやすい職場環境を支援できるよう努めていきたいと思ひますので、よろしくお祈いします。

北九州1・3 支部長

守由紀

連盟活動に初めて役員として参加させていただきます。前任の方々が無念に取り組んで来られた事を、引き続き真面目に遂行していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



北九州1・3 幹事長

高城 夏子

この度、北九州1・3支部の幹事長を務めさせていただきます九州鉄道記念病院の高城です。支部の皆様と力を合わせて活動して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



北九州2 幹事長

里田 佳代子

北九州2支部の幹事長に就任しました。小倉記念病院の里田佳代子です。以前、北九州2支部の支部長をさせていただきます。微力ながら、支部長を支えて、頑張りたと思ひます。



北九州2-2 幹事長

田中 剛二

北九州2-2支部幹事長の田中です。この機会に看護連盟の活動を再開し多くの方に連盟の役割を理解いただき会員になっていただけるよう支部長を支えていきたいと思ひます。



北九州4 支部長

青木 久美子

この度、北九州4支部支部長を務めさせて頂く産業医科大学若松病院の青木と申します。支部の皆様と共に看護連盟について学び、広く伝わる活動となるよう頑張りま



北九州4 幹事長

松野 修一

本年度より北九州4支部の幹事長を拝命しました松野です。現場の声、看護の声をまずは連盟に届けることが出来るよう活動していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



北九州5-1 支部長

矢治 幸子

北九州5-1支部の支部長を拝命いたしました、製鉄記念八幡病院の矢治と申します。看護の現場で働く看護職の質向上を目指し頑張りたと思ひます。よろしくお願ひいたします。



北九州5-1 幹事長

明松 和美

今年度、北九州5-1支部の幹事長を拝命いたしました。支部長と共に看護政策の実現のために活動していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



北九州5-2 支部長

野口 千春

今回、北九州5-2支部長を拝命いたしました。看護連盟会員となり、〇十年になります。看護連盟のことを一から学び直し、支部長としての役割を果たせるように頑張りたと思ひます。よろしくお願ひします。



北九州5-2 幹事長

木村 文男

支部長に引き続き幹事長を拝命致しました。北九州5-2支部は小さな支部ではありますが、政治に対する情熱は負けないように気を引き締めて任期を全うしようと思ひます。



北九州6 支部長

渡辺 千代子

コロナを経験し、看護職の待遇改善の必要性を改めて感じました。支部長として看護職の方に看護連盟の必要性を少しでも理解していただけるよう頑張りたと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



北九州6 幹事長

竹井 安子

北九州6地区の幹事長を拝命しました、芦屋中央病院所属の竹井安子と申します。微力ながら地区支部の活動が活発になるよう尽力致したいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



筑豊2 支部長

小竹 友子

この度、筑豊2支部の支部長を拝命いたしました。県看護連盟の活動に支部活動を通して少しでもお役に立てるように取り組んでまいります。



筑豊2 幹事長

井上 実佳

令和5年度より筑豊2支部の幹事長に就任いたしました。わからないことばかりですが、支部長と協力しながら、看護連盟の活動に取り組んでいきたいと思ひます。



筑後1-1 支部長

四方田 暁美

この度、筑後1-1支部支部長を拝命いたしました、久留米大学病院の四方田暁美です。支部長として支部の皆様と楽しく活動して参りますので、宜しくお願ひいたします。



筑後1-1 幹事長

釘嶋 美穂

筑後1-1 幹事長を務めさせていただきます、久留米大学病院の釘嶋と申します。支部の皆様と協力し活動を盛り上げていきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



筑後1-2 幹事長

伊藤 裕子

この度、筑後1-2支部 幹事長を拝命いたしました伊藤裕子と申します。身に余る重責ですが、職務に精勤する所存です。どうか今後ともご指導賜りますよう、お願ひ申し上げます。



筑後1-3 幹事長

岡田 尚子

今年度より、筑後1-3支部幹事長を拝命しました岡田です。「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」のスローガンの下、力を合わせて活動していきたいと思ひます。



筑後1-4 支部長

高山 日奈子

この度、支部長を拝命しました高山と申します。看護連盟の必要性を皆様にご理解いただけるよう、また、これからの看護職や当院の発展のために努めてまいります。ご指導の程よろしくお願ひいたします。



筑後1-4 幹事長

桐谷 富由子

この度、筑後1-4支部幹事長に拝命いたしました。私自身が看護連盟活動を理解する事。会員継続の必要性を理解してもらえるよう活動をおこなっていききたいと思ひます。



筑後1-5 支部長

赤穂 弘枝

この度、筑後1-5支部長に就任致しました。看護の問題を政策に反映していただくため、支部長として誠心誠意努めてまいります。皆様のご協力・ご支援よろしくお願ひいたします。



筑後1-5 幹事長

田中 真由美

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」をモットーに、また助産師の娘の未来のためにも頑張って活動したいと思ひます。連盟での活動は初心者ですがよろしくお願ひします。



筑後2 支部長

前田 由紀美

この度、筑後2支部の支部長を拝命いたしました。私につとまるのか不安だらけですが、先輩や支部役員の皆様のお力を得ながら努めて参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。



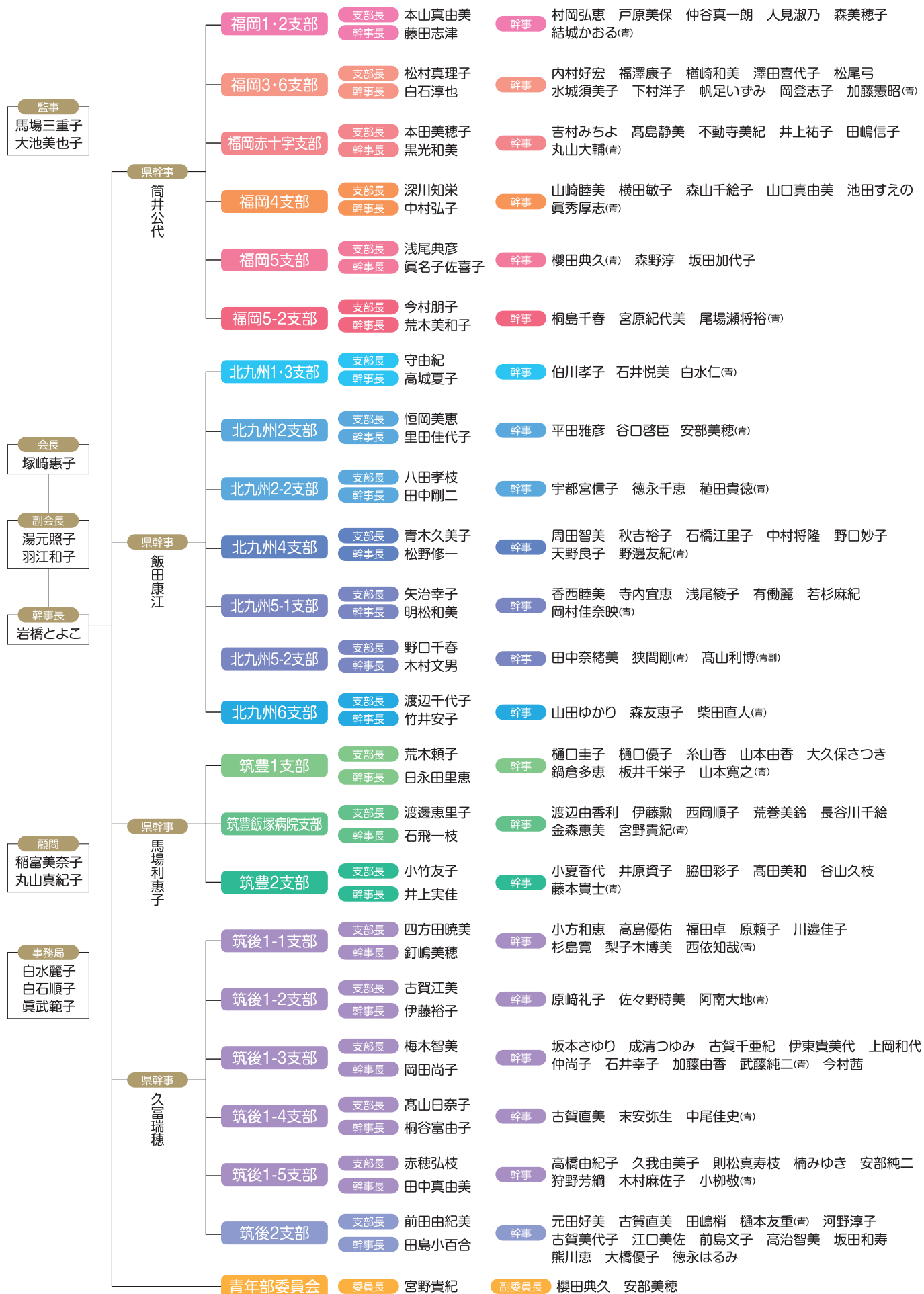
筑後2 幹事長

田島 小百合

令和5年7月より幹事長を拝命いたしました。わからないことばかりですが、この重責を果たすためにも、皆様のご指導ご支援の程よろしくお願ひいたします。



福岡県看護連盟組織図(2023年8月現在)



(青)…青年部委員
(青副)…青年部副委員



看護職地方議員誕生

初挑戦は72歳 遠賀町議会議員 野口 久美子



人生ってびっくりすることばかりです。令和5年4月23日統一地方選挙に自分の思いとは裏腹に初めて遠賀町議会議員に立候補する事になりました。選挙のせの字も知らず、えーいやーの勢いに乗って滑り出してしまいました。



ただただ「女性議員の明かりを消さない為」と、選挙が押し迫った2月に無茶な決断をし、気づいたら選挙真ただ中でした。

先の見えない闘いでした。まずは、手作りチラシを何度も何度も推考し作成しました。今回の選挙はそのビラ1枚のみを遠賀町全体に配布いたしました。遠賀町がこんなに広がったのかと思いました。約9000世帯、毎日毎日ビラを配り続けました。隣町との境界線もわからず、芦屋町、岡垣町、鞍手町にも「のぐち久美子」のビラは飛び交いました。

今回の選挙の出遅れもあり、趣意書も取らない、電話も一切しない、ビラに託して、出会う人すべての人に「のぐち久美子」を知ってもらうことに徹底した新しいスタイルの選挙活動でした。朝は遠賀川駅に立ち通勤通学の方々に挨拶し、夕方は遠賀ラーメン屋さんの前に立ち、車に向かってずっと頭を下げ続けました。日に日に反応は出てきて、多くの人から手を振っていただけるようになりました。ロコミの反応の大きさに戸惑いも覚えました。

選挙戦の5日間は選挙カーに乗ってうぐいす嬢と一緒に自分の叶えたい政策を声をからして叫び続けました。手が千切れるほどの握手攻めに、女性に対する期待と看護職に対する期待の強さを感じました。保守地盤の強い遠賀町で、よーし、何が何でも頑張るぞーという意欲がふつふつとわいてきました。

私の後援会の皆さんはみな後期高齢者で、選挙事務所はいつもデイサービス状態でした。お口はよく動くが、腰痛ひざ痛等で体はなかなか動きません。持病があり無理もできず・・・知恵が多くあらゆる難題を潜り抜け、おかげさまで新人ながらトップ当選を果たすことが出来ました。シニアパワーの底力を見せつけられました。やればできる、年齢に蓋をしないで、人生いつでも前向きに挑戦し続ける大切さを学びました。楽しい楽しい選挙戦でした。

これからが正念場・・・子供や高齢者に優しい町づくりを目指して住民と共にしっかり取り組んでまいります。今後ともご指導よろしく申し上げます。



保健師、看護師として長年のキャリアをもつ野口議員のパワーあふれる活躍を **みんなで応援しましょう。**



Report

声を出せない 子どもたちへの支援

衆議院議員 あべ俊子



いつもご支援、ご指導賜りまして、誠にありがとうございます。
います。

先日の衆議院内閣委員会にて、孤独・孤立に関する現状課題について質問いたしました。『望まない孤独』は、大人だけではなく、子ども達にも深刻な問題です。



内閣委員会

各校へのスクールカウンセラーの配置が進んでいるにも関わらず、子どもの自殺数は増えています。保護者、先生、スクールカウンセラーと、大人たちが近くにいないが、助けてと言いつけられない子ども達があります。電話での悩み相談という旧来の手法ではなく、SNSを活用したアウトリーチ型の支援と、その先にある対面・オフラインでの支援が求められています。デジタルとアナログによる両輪で、子どもを救っていかなくてはなりません。

これまで、孤独・孤立問題は内閣府が所管、自殺予防への対応は厚労省と、所管が分かれていました。子ども家庭庁が設置された今、縦割りの壁を越えて、子どもの安心・安全・安寧の第一優先を、政府に強く要求しました。



政経セミナー

Report

看護職の 処遇改善に向けて

衆議院議員 たかがい恵美子



盛夏の候、福岡県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらず後進の育成や看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。たかがい恵美子も皆様の温かい励ましの下、衆議院では厚生労働委員会、東日本大震災復興特別委員会に籍を頂戴しております。また

党政調では引き続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長、女性の生涯の健康プロジェクトチームの座長を務め、先の国会では理解増進法を成立させていただきました。

来年度から始まる第三次健康日本21では、女性の生涯の健康が戦略の新たな柱となり、女性活躍・男女共同参画の重点方針2023等には、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が項立てされています。

年末には診療報酬と介護報酬の同時改定作業が本格化しますので、技術に見合う報酬評価とライフコースに沿った働き方改革のため、一層気を引き締めて精進して参ります。



小倉大臣申し入れ



内閣委員会で答弁

今こそ更なる 処遇改善を

参議院議員 石田まさひろ



福岡県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を進めねばなりません。今こそ、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等を大幅に引き上げる必要があります。現在、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを

可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。

6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職議員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしく願い申し上げます。



日本看護連盟通常総会にてご挨拶



施設訪問

福岡県看護連盟の 皆さまへ

参議院議員 友納理緒



平素よりお世話になっております。参議院議員として、約1年が経過しました。年始から始まった第211回通常国会も閉会し、少しほっとしています。開会中は、参議院の委員会、党の会議など様々な場で、看護職の処遇改善、専門性の発揮、訪問看護への支援などについて

訴えて参りました。「訪問看護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方向性を示す骨太の方針2023に記載がされ、今後の展開が期待されます。

閉会中も参議院の閉会中審査や自民党の会議がありますので、医療・看護に係わるものを中心に出席し意見を述べるとともに、これまで皆さまからうかがった様々な課題の解決に向けて厚生労働省との協議を行っています。

現場の声を国政に!立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。

今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。



加藤厚生労働大臣への申し入れ



質問時の写真



石田先生と要望書レク

観光地の活性化で 元気な那珂川市に

那珂川市議会議員 ひじ英治



日頃より看護業務に励まれている皆様方に感謝申し上げます。

私たちの那珂川市では、五ヶ山ダムを中心としたエリアを一体的に活性化させる取り組みを行っています。この

参考とするため那珂川市議会では、JR九州が主体となり、既存の「油山市民の森」と「油山牧場」を一つのエリアとして福岡市の油山にリニューアルオープンした、「ABURAYAMA FUKUOKA」の視察を行いました。キャンプ場やアウトドアショップ、カフェなどの魅力的な店舗を誘致して集客力を高めています。

五ヶ山エリアにおいても、沢山の方に足を運んでもらい、皆様方に楽しんでいただける観光地になれるような取り組みが必要であると学ばせていただきました。



どうする？ 新型コロナウイルス感染症、5類感染症移行後!!

地域の中核病院、介護老人保健施設、地域・在宅看護(介護)のそれぞれの立場から、現状と課題について語っていただきました。



戸畑総合病院
看護部長 湯元 照子



「5類になったからといって病院内では何ら変わることはない。コロナの感染力がなくなったわけではない」皆の第一声であった。

外来で入院が必要な陽性患者が発生した場合どうしたらよいのか、入院患者から発生したらどうするのか。外来に来られる患者・家族が院内掲示で案内していてもマスクをしてこなかったらどうするのか。

更に、関連グループ施設からの入院をどの程度受け入れるか。

使用病床を一か所に集めるには、看護師のマンパワー及びコロナ以外の救急患者の受け入れなどを考えると、どの部署でも受け入れる方が良いか。

一病棟に何人までの受け入れが可能か、病院全体で何人になったら、救急隊からの発熱患者の依頼を断るようになるのか。また、他院へ入院依頼をしても受け入れ先が見つからない時はどうするのか…等々の課題に対し、ICTを中心に関係部署が集まり協議を繰り返した。

病棟での簡易なゾーニングでは不安な部分も。だから

こそ手技的な抜かりがないように、マニュアル遵守の徹底が必要であった。

日々頭を悩ませている敷地内全面禁煙にも関わらず、喫煙の為の無断外出。その患者たちが院内にウイルスを持ち込んでしまう危険性。しかし患者指導にも限界があった。

面会に関しては、Zoom面会も継続しながら1回/週短時間での対面面会に変更。

患者の表情が一気に明るくなり家族の存在の重要性を再認識した。

今まで陽性者と濃厚接触の職員は特休扱いにしていたが、濃厚接触者はその扱いがなくなり、自分の有給休暇を使用して休むことになるが、これも強制力はなく、休む休まないかは個人の判断となり、出勤した場合は入院患者との接触をできる限り避けることが必要となる。感染制御の観点から、濃厚接触者も特休扱いにしてしっかり隔離を保った方が…という意見もあったが…。

自分たちが感染源にならないよう、細心の注意を払い看護業務に携わってきた。今もその思いは同じである。

幸いにも入院患者からの感染者はなく、経験が大きな力となり外来からの陽性患者への対応(看護)も問題なく遂行できている。

今後も今までの経験を存分に生かし、医療に携わる者の責務として、プライベートでの行動も含め感染対策の継続が必要である。



医療法人 聖峰会
介護老人保健施設 サンライフ聖峰
副施設長 久富 瑞穂



コロナ禍においては入所時全て(ショートステイも含む)抗原定量検査を行っていたが、今回医師の指示がある時のみに変更したことで利用者様、職員にとって心身の負担軽減につながった。面会もオンライン面会からマスク着用と時間制限はあるものの、対面面会になったことでご家族、利用者様の会えないことへの不満が解消され利用者様に笑顔が戻ってきたように感じる。

職員に関しては出勤時の検温を廃止し、有症状時の検査実施体制のみ現在も継続している。又家族などに感染者が

出た場合は、症状がなければマスク着用、手指消毒、健康観察の徹底で勤務可能としたことで勤務調整を行う必要がなくなり業務がスムーズに行えるようになった。

今回の改定でコロナ発生時の保健所への報告事務作業が大幅に軽減され時間外の削減につながった。

又、クラスターを経験したことでスタッフの感染に対する意識が高まり環境整備のやり方、ゾーニングなどの感染対策法、PPEの使用法が身についたと考える。今後も新たな感染症の発生に備え教育、指導を継続し感染に強い施設を目指したい。

結びにあたり介護施設では外国人労働者も多く、多様な問題を抱えている中コロナ対策は病院と同様な配慮が必要であり、介護施設の看護師に対しても病院と同様な処遇改善の政策実現をお願いしたい。



北九州
ヘルスケアサービス(株)
馬場 三重子



COVID-19が感染症法「5類」へ移行後の地域・在宅看護(介護)事業所におけるコロナ感染対策に関する現状と課題について私見を述べます。国が示した今後の基本的対応方針は個人や事業所の判断に委ねる方向に舵が切られ、事業種別ガイドラインは廃止されましたが、当社は、

すでに廃止前から整備していた「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針」、「感染症対応BCP」を継続し、運用徹底を図っています。ただし、有事の行政報告と職員の就業制限については、急遽見直しが必要となり修正を加えたところです。しかし、有事の際に現場サイドで解決できない大きな課題が2つ残っています。それは、①介護職員の採用に苦慮している中での代替職員の確保、②医師不在の高齢者入所施設が入院療養の手配を急ぎたい場合の入院先確保です。第8波で経験した悪夢が再現しない実現可能な応援体制と福祉・医療連携のシステム作りが急務と考えます。

被災の中での感動

医療法人聖峰会 介護老人保健施設サンライフ聖峰 副施設長 久富 瑞穂

7月10日朝、出勤中に線状降水帯発生に伴う雷と大雨で道路が冠水し職場にたどり着けないまま途中の宗教施設の駐車場に避難していました。国道210号線はあっという間に川のようになり中央線が見えない状況になりました。不安と焦りの中、職場からはラインで病院内外、老健施設内外の浸水状況、グループホームの状況が次々と報告されてきます。

- ・病院の1階床上浸水しました、垂直非難します。
- ・老健1階が床上浸水しました。グループホーム床上浸水しました。老健に避難します。
- ・病院前の道路は腰まで水位が上がっています。グループホーム利用者全員無事避難完了。
- ・職員が出勤できません、夜勤者と一部の人間で対応中です。など次々と写真付きで送られてきます。宗教施設の駐車場から先に行くことも戻ることもできずやきもきしながら車の中にいました。



田主丸中央病院周辺道路と駐車場 1mほど冠水

そんな時、宗教施設の方が「トイレは自由に使ってください」「コーヒーをどうぞ」そしてペットボトルのお茶の差し入れまでして頂きました。この状況で一番困るのはトイレと水分補給であることを身をもって体験しました。

少し小降りになった時、宗教施設内に一緒に避難させていただいている方々と道路の状況等をスマホで見ながら今後どうなるのかを話している時、私は今から歩いて職場に向かおうと思っていることを話すと「危険なのでもうすこし待った方が良く。もう少ししたら雨が少し弱まってくるから病院まで送ってあげるよ」と見ず知らずの方の言葉に胸が熱くなりました。筑後市の方で私の職場まで知らない道をスマホで見ながら送っていただきました。世間では人情が薄くなった、自分のことしか考えない人種が増えたと言われますが、そうではありません。宗教施設の方、送ってくれた方どちらも30代ぐらいの方でしたがお二人とも「困ったときはお互い様ですよ。」と言われたことが心に沁みました。

たどり着いた職場は悲惨な状況でした。水は少しずつ引きはじめたもののヘッドロが床一面に張り付き、機器類は水没し使えるかどうかわからない状況でした。早速ヘッドロの掻き出しを汗だくになりながらみんなと頑張りました。体は疲れていましたが心の中は温かいものでいっぱいでした。こんな時だからこそ人の温かさが余計身に染みて疲れが軽くなる思いでした。助けていただいた宗教施設の方、送っていただいた方に感謝をしながら自宅に戻れないまま施設内で眠れない一夜を過ごしましたが、心の中は陽だまりに包まれたような1日でした。



病院内 薬剤科 大切な機材が・・・衝撃でした



病院玄関受付待合部分 川のようにです

青年部の窓

福岡県看護連盟青年部委員長
宮野 貴紀



青年部委員長としての抱負

筑豊飯塚病院支部で青年部幹事として活動してまいりました宮野貴紀と申します。この度福岡県看護連盟の青年部委員長に就任させていただきました。歴代の委員長や会員の皆さまにご迷惑をおかけしないよう精一杯努力させていただきます。私が青年部に参加させていただき5年目となります。新型コロナウイルスにより活動は制限されてきましたが、全国の青年部の皆さまや看護職国会議員とのオンライン会議などデジタルを活用し活動を続けてまいりました。その中で政治と看護の結びつきが必要であることへの理解を深めてまいりました。それをもっと多くの会員の皆さまや今から会員となる若手に知っていただきたい、そのためにはまず連盟活動に興味を持ってもらえるようにしていくことが必要だと考えています。青年部で企画・運営しているポリナビワークショップだけでなく、今後は看護学生に向けた基礎研修も計画しています。この活動を通じてより多くの皆さまに連盟活動をアピールし、活動についての理解を深めていきたいと思っております。また、青年部が笑顔で楽しく活動できるように努力していきたいと思っております。若輩者であります但し宜しくお願い致します。

新青年部メンバー

- | | |
|-----------------|---------------|
| 福岡3-6支部 加藤 憲昭 | 筑豊1支部 山本 寛之 |
| 福岡5-2支部 尾場瀬 将裕 | 筑豊2支部 藤本 貴士 |
| 北九州1-3支部 白水 仁 | 筑後1-1支部 西依 知哉 |
| 北九州4支部 野邊 友紀 | 筑後1-2支部 阿南 大地 |
| 北九州5-1支部 岡村 佳奈映 | 筑後1-3支部 武藤 純二 |

全国青年部代表者ミーティングに参加して

6月12日2023年度全国青年部代表者ミーティングに参加させていただきました。日本看護連盟青年部活性化委員6名、都道府県看護連盟青年部代表者47名、都道府県看護連盟からの聴講者61名、役員5名の合計119名が出席しました。ミーティング前後で石田まさひろ参議院議員、友納理緒参議院議員が駆けつけてくださり、ご挨拶をしていただきました。政務で大変お忙しい中お言葉をいただき、感謝しかありませんでした。ミーティングの中で①次世代型選挙戦略の検討、②看護連盟会員になることの意義(Z世代向け)、③今やるべきSNS広報戦略の在り方、④看護連盟のデジタル活用の4つのテーマに分かれグループワークを行いました。私は④看護連盟のデジタル活用のテーブルホストを務めさせていただき、様々な都道府県の方と意見交換を行いました。はじめは緊張した様子でしたが、時間が経つにつれ意見は熱気を帯び、活発な意見交換の場となりました。47名の代表者の意見だけでもユニークな物から現実可能な物まで様々な



意見がみられており、もっと大勢の意見が出れば看護をより良くするための未来に繋がっていくと感ずることが出来ました。ミーティング後、「進次郎さんと語るニホンの未来」のテーマで小泉進次郎衆議院議員に講演をしていただきました。質疑応答ではスライドを活用し、現場の生の意見に対して応答していただくことで現場の声を届けることが出来たと思っております。ミーティングや講演の様子は日本看護連盟機関誌アンフィニに掲載予定ですですのでこちらも是非ご覧下さい。



酒井裕子青年部前委員長(左から2番)



小泉進次郎氏



青年部代表者ミーティングの様子



国会議事堂

友納理緒議員の活動を通じて感じた看護職議員の重要性

福岡1・2支部 前支部長 宮崎 さとみ



5月20日、友納理緒参議院議員を講師に招き開催された、福岡県看護連盟主催のリーダー研修「看護の未来を考える～議員活動を通じてみえてきたこと～」に参加しました。ご自身の政策と活動内容を紐づけながらのお話で、看護職代表という立場を遺憾なく発揮して活動されていることがよくわかりました。

厚労省はじめ各省庁から受けるレクチャーの場面では、各都道府県を訪問して寄せられた意見を元に、より現実に合った内容となるよう議論をすると話されていることを心強く感じました。また、看護職とはあまり関係のないような会議やイベントでも、看護職を知ってもらう機会と捉え積極的参加しているという姿勢には、看護職の代表を国政に

送る重要性を改めて感じました。

ご存じの方も多いと思いますが、友納議員は看護師であり、弁護士でもあります。現在、30年以上変わっていない『看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的な方針』の改訂に向けた動きや、その他法制定が必要とされる課題にも大きく関わっておられます。弁護士という視座で看護制度を見られることも、友納議員の強みであり、法整備・制定は重要視されていると感じました。

最後に、論理的な思考で力強く話される友納議員の姿に、今後益々応援したいという気持ちを強くしました。皆様にも機会があればぜひ聴講されることをお勧めします。



※ナースプラザ福岡研修ホールに於いて

福岡県助産師会 佐藤香代会長

第51回医療功労賞中央表彰受章 おめでとうございます!!

福岡県看護連盟副会長 羽江 和子

2023年7月30日、第51回医療功労賞中央表彰を受章された福岡県助産師会の佐藤香代会長の祝賀会に、福岡県看護連盟として塚崎会長と共に出席しました。

医療功労賞とは、日本の過疎地や離島、被災地など厳しい環境のもとで、長年地域に密着した活動を続けてきた医療従事者を表彰するという事業で、読売新聞社が1972年に創設し、今回で51回目を迎えています。功労者の選考方法として、まず地方で表彰者が決定し、その中から中央表彰者10名が選ばれ、天皇皇后両陛下に拝謁するという名誉ある顕彰事業です。佐藤会長はその10名に選ばれ、福岡県の助産師として、初めての栄誉な受章となられ、天皇陛下に拝謁されました。その時の表彰メダル、記念の品々は写真をご覧ください。奥深い輝きがあります。

佐藤会長の医療功労賞の受章理由は、①後継者育成：学生の知識と実践の融合、大学院の助産師教育、助産師教育のリーダー、助産師教育の体系化 ②助産実践・教育・研究の融合：

フムフムネットワークの結成、身体感覚活性化(世にも珍しい)マザークラス開発、医療者セミナー全国で開催 ③ウイメンズヘルス、リプロダクティブヘルス・ライツ・性・いのち・健康に関する講演活動 ④書籍や論文 ⑤福岡県助産師会会長など、教育・研究・実践を三位一体として、常に地域の助産師、助産師学生と共に、後継者育成を念頭に実践してこられた事が高く評価されたとのこと。佐藤会長の受章は、同じ看護職として、とても喜ばしく誇らしく、心の励みとなっています。

最後に、この受章にあつた祝賀会での佐藤会長の言葉を添えます。

「今、この瞬間を大切に生きる・・・好きなように楽しく生きてたらご褒美(今回の受賞)もらった。ただただ 感謝しかない・・・すべての人にありがとう♡」



祝賀会の佐藤会長



佐藤会長のイラスト

表彰メダルと記念品



筑後1-3支部

支部長 梅木 智美

筑後1-3支部は会員数999名(2022年度)、個人会員を含む聖マリア病院、聖マリアヘルスケアセンター、聖マリア学院大学、久留米医師会看護専門学校で構成されており、支部役員10名、青年部1名で活動しております。会員数は県内で1番多い支部であり、部署連絡員40名とともに活動を行っています。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、支部内の活動は大幅に制限されるようになりました。昨年の参議院議員選挙ではこれまで選挙時に行っていた応援活動などが行えず残念な思いもありましたが、無事に当選を果たされコロナ禍の選挙活動のあり方を考える事もでき、達成感も得ることが出来ました。少しずつ戻りつつある日常の中にも感染との戦いは現場ではまだ続いておりますが、その状況で発見した[活動のあり方]を糧に感染防止対策を行いながら出来る活動を行い、スローガンである「届けよう看護の声を! 私たちの未来へ」を掲げ、支部全体で盛り上がりていきたいと思ひます。

令和5年度福岡県看護連盟総会を区切りに7名の役員の交代となり、新たなメンバーとの活動開始となりましたが、変わらず元気いっぱい支部活動としていきたいと思ひます。



筑後1-4支部

前支部長 松家 貴美子

筑後1-4支部は、新古賀病院、古賀病院21、新古賀クリニック、他天神会施設で構成されています。

2022年度会員数は507名、看護連盟委員20名で活動しています。

毎年4月の基礎研修では新人看護師への看護連盟の役割・活動を伝える研修を行っていますが、2022年度もコロナ禍で新会員数獲得のために非会員病院や看護学校への入会を勧めるための研修会や施設訪問を目標に掲げていましたが実施することができなかったことは残念でした。

その中で衆議院議員選挙や参議院議員選挙では看護連盟委員と共同して、立候補情報を発信して選挙活動の必要性を周知し、期日前投票が浸透して投票へと繋ぐことができました。

私は、7月の総会をもちまして支部長を退任しましたが、今後も福岡県看護連盟会員として看護職員さん達の活動に目を向け医療・看護の今後の変化・改革に期待して支援していきたいと思ひています。

今年度はコロナ禍でできなかった施設訪問・研修会の活動を行い、新規会員獲得へと繋いでいくよう働きかけていきます。



令和5年度 福岡県看護連盟主催

第2回 会員研修会

会員の方も
非会員の方も
ご参加ください!!

日時 令和5年 10月6日(金)
14:00~16:00
(受付開始 13:30~)

会場 ナースプラザ福岡 201研修室
福岡市東区馬出4丁目10-1

テーマ 政策を身近に感じる!

講師 自由民主党福岡県議団 幹事長
福岡県議会議員 中尾 正幸 先生



▲お申し込みは
こちらから

編集後記

編集長 羽江 和子

今回の表紙は、7月2日の福岡県看護連盟通常総会の様子を、多くの皆様にお知らせしたいと思い作成しました。総会を経て令和5年度の福岡県看護連盟の活動が新たに始まりました。今までの活動を支えて下さった旧役員さんに感謝すると共に、新役員さんの活躍、会員皆様のご協力を宜しくお願いします。さて、看護の現場では、感染、災害など自然災害の発生と共に医療インフラ等の課題が山積です。しかしどのような状況下であろうとも、みんなの心を結集して、声を上げ、大きな力にしていきたいと思います。